

今年は北陸など日本海側は大雪による大渋滞で大混乱に陥った。温暖化などで雪が少なくなっていたが、ひとたび冬型が強まればやはり雪国になる。守屋山の位置からすれば、あまり雪は降らず太平洋側の晴天の日が多い。この山に雪が積もるのは強い冬型の時と、南岸低気圧が接近した時、この時は湿った重たい雪が積もる。いわゆる上雪と言うやつで昔70cm位降り被害が出た。15cm位の雪も春の日差いで二三日で日向は解けてしまう。それでも2月に-13度の朝があった。



今日は松尾峠からの西尾根を選んだ。登り始めてもう降りてくる女性2人組がいた。日の出の時間に登ったのか私より2時間も早い。途中から雪道になった。気のせいか冬芽が膨らんでいるように見える。木の根の周りもそうだが、栗のイガの周りから解け始めていた。

展望が開けて北アルプスは白馬岳まで見える



雪の残る斜面にタチツボスミレやイチヤクソウの葉が見える。緑が鮮やかである。

ベンチが新しくなっていた、この時期日向は天国である。下りで雪が消えた所でも、表面は解けた泥道になり気が抜けない。朝と昼の道ではガラッと変わってしまう。里に下ると福寿草にミツバチが止まっていた、ヒメオドリコソウにも小さなピンクの花が見えた。